としょかんだより bookmark

市立図書館ホームページ

携帯アドレス
http://www.tosho.otake.hiroshima.jp/mobile

問い合わせ ☎52-5338 FAX52-8005

1月（JAN）

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	⑩	11
12	13	14	15	16	17	⑱
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

■白字は図書館の休館日です。○はおはなし会の日です。

大竹小学校２年生が図書館探検に来てくれました。

「おとなのストーリーテリングのおはなし会」の様子。

「図書のリサイクル市」の様子。

「おおたけ手すき和紙」でかわいいポチ袋ができました。

イベント紹介

おひざにだっこのおはなし会
とき1月10日㈮10時30分から▼**ところ**ギャラリーおおたけ3▼**対象**0歳から

親子で楽しむおはなし会
とき1月10日㈮11時から▼**ところ**ギャラリーおおたけ1▼**対象**1歳から

おはなし会
とき1月18日㈯11時から▼**ところ**図書館1階おはなしのへや▼**対象**幼児・小学生

※各イベントは予約の必要はありません。参加を希望する方は当日来館してください。

展示コーナー
一般向き　シルバーワールド
児童向き　さむいのへっちゃら
時事コーナー　あなたの推しはどっち!?　わんＶＳにゃん

お知らせ
蔵書点検を行います。
1月28日㈫から30日㈭まで蔵書点検を行うため、休館します。ご不便をおかけしますが、よろしくお願いします。
（1月31日㈮は月末整理日）

新刊案内

こどもの本

「出てこい、写楽！ 蔦重編集日記」
楠木　誠一郎／作
平沢　下戸／絵
（静山社）

日本橋にある版元「耕書堂」では、東洲斎写楽の絵が飛ぶように売れ、うれしい悲鳴をあげるばかり。しかし写楽が突然、部屋に引きこもってしまった。店主・蔦屋重三郎は、十返舎一九や喜多川歌麿のところへ相談に行き…。

「本当に危ない闇バイトの話 あの時こうしなければ…」
廣末　登／監修
芳賀　恒人／監修
（金の星社）

「へびながすぎる」
ふくなが　じゅんぺい／作
（こぐま社）

おとなの本

「SIMOSE　建築とデザイン」
SIMOSE編集委員会／編著
（鹿島出版会）

「日本狛犬大全」
荒　勝俊／著
（さくら舎）

「白猫、黒犬」
ケリー・リンク／著
金子　ゆき子／訳
（集英社）

奇想の天才ケリー・リンクの短篇集。グリム童話「ブレーメンの音楽隊」を基にした「白い道」、ノルウェーの民話「太陽の東月の西」を基にした「地下のプリンス・ハット」など、夢と幻想、誘惑と謎に満ちた７つの物語を収録。

●掲載している催しなどは中止、または延期になる場合があります。

12/15 SUN 大竹の風になってリレーマラソン

晴海臨海公園

令和６年１月に続いて『第２回瀬戸内リレーマラソンin大竹』が開催され、千人に及ぶランナーが師走の空のもと健脚を競いました。開会式で小西啓二教育長は「大竹の風になってしっかり走ってください」と激励。親子で一緒に走る『ファミリーペアマラソン』、102チームが公園内を周回し、たすきをつなぐ『ミニリレーマラソン』と『42.195㎞リレーマラソン』では、ランナーに熱い声援が送られました。廿日市市のかえで幼稚園の先生と保護者で出場した『かえでサンクラブ』の４チームは、桃太郎やカメとウサギのコスプレで仮装賞を受賞。「１周目は緊張したけど、２周目からは楽しく走れました」と、フォトスポットで喜びの記念撮影をしました。

10月23日　子育て講座「親子であそぼう」の運動会がどんぐりHOUSEで開催され、親子17組34人が参加しました。サンサン体操や、かけっこなど計６つの盛りだくさんのプログラムに子どもたちは大喜び。最後は、参加賞のメダルを胸に全員で記念撮影をしました。毎日どんぐりHOUSEに通っているという高野日奈美ちゃん。お母さんは「みんなが楽しめるように内容が工夫されていて、とても楽しそうでした」と笑顔で話してくれました。

カメラスケッチ

11月16日　毎週土曜日に開催している『こぶしの里松ケ原』の３周年記念イベントに、多くの来場者がありました。販売開始の合図とともに、お目当ての農産物を競うように手に取る光景も。館内では福祉施設や趣味のグループなどの作品展示、ステージでは、詩吟やオカリナ演奏、沖縄歌謡、子どもたちのリトミック、よさこいソーランなどが披露されました。着物をユニークにアレンジしたファッションショーでは、40人を超す出演者がステージを彩りました。「地域が活性化していいですね」と生田美千代さん（玖波）はイベントを楽しんでいたようです。

イベントなどで撮影した写真は、「広報おおたけ」、市ホームページ、市公式SNSや市の刊行物で使用するほか、マスメディアなどに提供することがあります。